



水上バイク 4時間耐久レース「アイランズカップ」

6月定例会/目次

町長所信表明	2
平成15年度予算	3
予算審議	4～5
一般質問	6～16
委員会構成	17

おおさきかみじま 議会だより

創刊号/2003年8月11日

大崎上島町議会

☎(08466) 5-3111

3130(直通)

〒725-0231

広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

新たな決意で 新生「大崎上島町」をめざして (町長 所信表明)

6月定例議会

平成15年度の予算を審議する6月19日から6月30日までの会期で開きました。

町長の定例議会説明を受け、活発な論議を展開しました。提案された条例、予算については原案どおり可決しました。



ふじむら まさたか
藤原 正孝 町長

① 地域情報通信 基盤の整備は

インターネット活用等、高度情報化とあわせ、光ファイバー網の全町ネットワークにむけ、整備を進めています。

② 産業、交通、 環境の整備は

各地域で継続事業として整備がなされている事業の進展と、生活環境整備事業、大崎上島循環線県道改良事業、農地保全整備事業、港湾改良、保全事業、漁港整備事業、離島振興事業としていたる県公共事業、農道整備事業、林道整備事業、町道整備、住宅、急傾斜崩壊対策及び河川等の整備を行っています。

③ 福祉対策として

保健、福祉の一層の拡充と、介護保険制度の充実、あわせて、子どもと子育てにやさしい環境の整備とともに、生涯学習体制の充実のための諸施策にとりくんでまいります。



6月定例会で決まった主なこと

条例改正

○大崎上島町財政状況の公表に関する条例

○大崎上島町国民健康保険税条例の一部改正

平成15年度
一般会計予算 **84億8千万円**

歳入

(単位：千円)

区 分			15年度
財 源 内 訳	1	町 税	1,903,040
	2	地 方 譲 与 税	54,906
	3	利 子 割 交 付 税	7,339
	4	地 方 消 費 税 交 付 金	88,737
	5	自 動 車 取 得 税 交 付 金	29,931
	6	地 方 特 例 交 付 金	31,439
	7	地 方 交 付 税	2,330,000
	8	交通安全対策特例交付金	620
	9	分 担 金 及 び 負 担 金	4,011
	10	使 用 料 及 び 手 数 料	69,143
	11	国 庫 支 出 金	818,781
	12	県 支 出 金	698,461
	13	財 産 収 入	4,332
	14	寄 付 金	6
	15	繰 入 金	296,839
	16	諸 収 入	120,041
	17	町 債	1,926,700
歳 入 合 計			8,483,525

歳出

(単位：千円)

区 分			15年度
1	議 会 費		163,665
2	総 務 費		1,610,681
3	民 生 費		1,223,781
4	衛 生 費		793,481
5	労 働 費		18,055
6	農 林 水 産 業 費		1,079,372
7	商 工 費		117,178
8	土 木 費		1,255,383
9	消 防 費		316,472
10	教 育 費		666,927
11	災 害 復 旧 費		1,128
12	公 債 費		1,234,401
13	諸 支 出 費		1
14	予 備 費		3,000
歳 出 合 計			8,483,525

特別会計予算

(単位：千円)

国 民 健 康 保 険 事 業	1,360,986
介 護 保 険 事 業	1,190,678
老 人 保 健 事 業	2,273,074
簡 易 水 道 事 業	636,274
公 共 下 水 道 事 業	561,773
干 拓 地 管 理 事 業	22,449

交 通 事 業	58,484
開 発 事 業	5
農 業 集 落 排 水 事 業	188,107
漁 業 集 落 排 水 事 業	214,106
港 湾 管 理 事 業	15,456
漁 港 管 理 事 業	5,607
住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業	6,583

の主なやりとり

問 集会所管理の調整が必要では。

町長

管理形態を同じ基準で考えるよう検討します。

問 大串裁判の費用は。

政策企画課長

15年度155万円予算化しています。

問 準備が整っていると
言いながら、なぜパソコンを購入するのか。

町長

古い機種で互換性がないので購入します。

問 木江小学校の耐久度調査、設計委託料の予算が計上されていないが。

町長

9月補正で予算計上した。

問 木江地区の福祉ゾーンの取り組みは。

福祉保健課長

新町建設計画に基づいて予算は9月補正で対応するよう検討したい。

問 光ファイバーの今後の計画は

政策企画課長

全戸に光ファイバーを配信すると、予算的な面もありますが、前向きな検討を進めて行きたい。

問 将来的な交付税の見直しは。

総務課長

有利な過疎債等を充填して行くことで将来的に起債の関係を整理して行きたい。

問 合併推進交付金の使い道は。

町長

新しい仕組みの中で、ソフト的な物を展開して行く初期費用に使いたい。

問 臨時雇用特例交付金の使い道は

町長

具体的に事業を組み立てていないが、町道、公園とかの草刈り清掃に使ってきたい。

問 合併浄化槽30基は、地域的にどこを想定しているか。

町長

旧東野町全域と旧木江町を指定地域として計画しています。

問 マスタープランを立てるにあたって、今後の住宅政策をどう進めるのか。

建設課長

高齢者に対応すべく、住宅建設計画を進めて行きます。

問 町営住宅と、教員住宅の兼用は。

建設課長

今後のマスタープラン等で協議していきます。

問 地方交付税に対する自治体の異議の申し立てがあるが。

町長

交付されたものに対してクレームをつけたことは3町の中ではないと思う。

問 管路とか電柱に対してもう少し収入があるのでは。

町長

固定資産税、電柱使用料等整理されています。

問 時間外労働が多く、過重労働であり、このことに対してどのように考えているのか。

町長

今までの実績を十分認識しておりますので、今後改善に努めてまいりたい。

問 下水道工事で、労働安全性上の問題があるのでは。

町長

行政ですから、労働安全法の順守するというのは義務ですから、そう言う方向で取り組んでまいります。



わが町の予算

問 授産施設の予算は、関係団体と話して煮詰めるべきでは。

町長 上島地域の障害者団体の会が設立されました。会の意見を聞きながら進めて行きたい。

問 起債は予算では6%としているが。

町長 実際には、政府資金関係でも、年度によって若干違います。1%以下で借り入れをしています。

問 人権対策諸費の使い道は。

町長 主には団体に対する補助金・扶助費的な金額が大きくなウエートを占めています。

問 公共工事、又各種団体補助金を来年度予算で検討すべきでは。

町長 当然、考えてまいります。

問 自然休暇村の柑橘園の管理はどのようにされているのか。

商工観光課長 契約者がいないので今後見直しをしたい。

問 二級河川の清掃の対応は。

建設課長 県で対応していただくようお願いしています。

問 コミュニティー推進費の使い道は

政策企画課長 花作り団体、住民の清掃活動に使って行きたい。

問 し尿処理の運営費負担金は。

町長 広域行政のし尿処理負担金です。

問 光ファイバーの利用促進の新しい部署を作っては。

町長 利用促進検討対策協議会を作って対応したい。

問 地場産の食物を給食センターで消費して

教育長 は。可能なものもあるので検討したい。

問 下水道事業は、本所で取り組むのか。

大崎支所長 事業実施、工事、加入推進は支所で、啓発広報は本所で取り組んでいきます。

問 職員の島外通勤者の指導をすべきでは。

町長 町の職員である限り条件的には町内に住んでいただきたい。又新規の採用等があればそう言う視点で考えて行きたい。

問 企業が持っている住宅の空部屋を利用できないか。

町長 非常に難しいが、企業と話し合いをさせていただき



傍聴席

一般質問

町政を問う

12名の議員が町長の考えをたどしました

問

大串土砂搬入損害裁判請求事件について

答

弁護士と相談し、早期解決が図れるように努力します



鼻戸 露子 議員

質問（議員）

旧大崎町有地（西野干拓地）土砂搬入について、土砂搬入業者（建設資源事業共同組合）と旧大崎町（代表者長岡昇旧大崎町長）と平成4年12月25日契約終結。しかしながら、平成8年相手方諸々の事情により損害賠償請求事件発生。原告・被告という立場のもと法の裁きを受ける身となり一審広島地方裁判所呉支部から広島高等裁判所で二審の裁判へと移行されました。そのさなか4月1日、大崎上

島町（旧大崎町・旧木江町・旧東野町・旧三町対等合併）で発足しました。初代大崎上島町長藤原正孝様の船出となりました。そこでお尋ねします。（相手方のあることですが）町長就任以来日時も浅いですが、原告代表との会見、対話されたのでしょうか。今この裁判の件について、どのように思われているのかお聞かせ願えればと思います。

新町になりこの裁判は全島民の一番の関心事であろうかと思えます。そこでこの裁判が長引けば長引くほど諸々の裁判費用に随分と出費が必要と思えます。一日も早く解決することを願っています。町長さんも大きく重い荷物を背負ったわけですが、この裁判の経過につきましては旧大崎町長さんの片腕として努力され

れました政策企画課長さんがいらっしゃいます。今までの経過等についての説明等求められたことと思えますがどうでしょう。議会での一般質問の中で、いろいろ答弁の必要もあらうかと思えますし、今後の協議等、お考えがありましたらお聞かせ願います。尚他議員さんからの同件につきまして重複することもあるかと思いますが私が私は私なりの思いで一般質問させていただきましたので、よろしくお願ひします。

答弁（町長）

原告代表者との会見対話をされたのでしょうかと言うことですが、していません。裁判が継続中でございますから、その中で例えば今年の3月までの和解調停というのは不調に終わりました。これからの裁判の状況の中で、調停ができれば、弁護士さんとも相談して早期解決が図れるように努力をしてまいりたいと思います。



大串干拓

その前提としてあるのはやはり議員の皆さん方のご意見をいただきながら、住民の方のやはり思いというものもございまして、そういうことも含めて判断をさせていただきたいと思ひます。

問 学校間交流と親の願いをたいせつに

〔答〕 関係者の連携と地域の歴史性を大切に進める



議員 昌 谷本 にもと

〔質問（議員）〕

複数ある町立学校の特徴を生かし、行事、授業等の交流を図るべきだ。

統合問題、学校・家庭のケジメ、塾のいらぬ教育など諸問題の解決には教育委員会と親の対話が欠かせ

ない。親の願いを汲み取る努力が欠かせない。
幼稚園は旧町での歴史もあり、変則的な学区制をとっている。親の願いも取り入れるよう制度改革を進めるべきでは。

〔答弁（町長）〕

家庭、地域、学校の中で、地域の歴史を大事に継承しながら進める。特に幼児教育は、歴史性を大切にしながら、親の願いをどのように受け止めるか、協議会等の審議を通して検討する。

問 島を巡る交通の諸問題の長期的展望と即応性を求める

〔答〕 交通問題協議会と連携を取り対応する

〔質問（議員）〕

協議会の答申も大切だが、今回のような関係交通機関との連携なしの改正等は事前連絡を義務づけるべきでは。

〔答弁（町長）〕

いろいろなことを含め会社と協議する。



問 町づくりのテーマ「個性と自立と効率化」とは

〔答〕 地方分権の時代、行政の自立が大切だ

〔質問（議員）〕

行政の自立と効率を求めるとは町民との対話と組織の改革が欠かせないのでは。

〔答弁（町長）〕

話し合いは必要だが、日程等のこともあり、区長会、女性のグループ等組織との意見交換を具体化したい。組織改革は時間をかけて取り組む。

問 助役人事について早く人選を

〔答〕 当分現状でいく

〔質問（議員）〕

新町出発の大事な時期だ。島を取り巻く環境はとも厳しい。広く人材を求め、万全の体制を作るべきでは。

〔答弁（町長）〕

支所長、課長等責任と自覚の上に役割分担し、直接話し合いながら運営していく。

問 大串の訴訟問題を新町としてどのように取り組むか

〔答〕 資料を精査して、慎重に取り組む

〔質問（議員）〕

合併前の町長間の話し合いは。現在の状況は。今後の対応は。

〔答弁（町長）〕

合併までに結審をと努力したが不調に終わったと報告を受けている。双方の書類提出を受けて審理されている。早期に弁護士を招き議員を交え協議する。

問 光ファイバー網の全戸配信は

答 専門家の意見を参考に



おじり きみお 議員
尾尻 公雄 議員

質問（議員）

光ファイバー網の設置作業が進められているが、全戸へ配線し町からの伝達もテレビによるべきと思うが

いかがか。

答弁（町長）

光ファイバー網もほぼ8割ぐらいすんでいます。今年度で全島に配線が終了します。現在の法規制で映像の放送が制約されていますが将来的に可能ではないか、いろんな課題があるので専門家の意見を聞きながら進めていきます。



問 町有地への土砂搬入手数料利用

条例の制定について

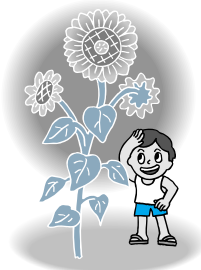
答 今後旧木江町、東野町の議員と一緒に検討させていきたい。

質問（議員）

大串干拓地土砂搬入手数料条例の制定を急ぐべきではないか。管理手数料利用が適正であるか検討していただきたい。

答弁（町長）

業者との土砂搬入契約書等を検討していきたい。又、今後の土地の利用、整備に関わる費用等もかかりますので議会の皆さん方と一緒に協議していきます。



問 役場の機構改革について

答 もう少し経過を見てよりよいものを作りたいと思います

質問（議員）

役場の機構改革は執行部と議会が一緒になって知恵を出し合うべきと思うが。

答弁（町長）

6月定例で予算が成立後に動き出す部所もあり、本所、支所の関係、地域の関わり等を見極めたいのでもう少し時間をかけて検討してまいります。議員方からの指摘があれば意見として尊重させていただきます。

問 道路維持管理について

答 多方面から検討したい

質問（議員）

清風館に毎日数台の観光バスが入ります。この道路周辺に雑草が茂っているが町で清掃作業に取り組んだらいかがですか。

答弁（町長）

県道管理については県が



管理委託をしているがその回数が不足しているかと思われる。今後は木江地区公衆衛生協議会で花いっぱい運動、大崎地区の花壇整備、東野地区のコスモスの花いっぱい、等々を参考にしながら環境美化という視点で取り組んで参ります。

問 合併後の新町建設計画は

【答】 今年度光ファイバー網整備と基本計画の策定へ



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

計画立てたい。

【質問（議員）】

授産施設について、早急に建設すべきでは

【答弁（町長）】

授産施設は調査費の予算を組んでいる。通所にするのか・入所にするのか、事業実施主体を含め対象者と相談したい。

【質問（議員）】

光ファイバーによる情報化事業は約13億円と多額になった。住民に事業の内容を説明すべきでは。

【答弁（町長）】

各町で事業の説明の温度差はあった。過疎地域における情報網の整備をはかり、産業振興を図りたい。

【質問（議員）】

小学校は児童が大半を過ごす場所であり、また住民の避難場所である。文部省から阪神大地震により耐震耐力度の検査をすべきとの通達が出ているが。

【答弁（教育長）】

文部科学省は耐震検査は17年度までにとの指導があるので、17年度までに実施する。

【質問（議員）】

フェリー等交通機関の充実にについて具体的提案は。駐車場の整備等早急に実施すべきでは。

【答弁（町長）】

町が単独でフェリーを運行すべきではない。夜間運行に数千万円かかる。契への利用も検討する。

【質問（赤松議員）】

雇用の拡大は。

【答弁（町長）】

新規の就労は困難です。

問 不足医療の充実・救急ヘリの利用について

【答】 検討している。

【質問（議員）】

不足医療の充実をすべきでは。

医者判断することですが、救急時におけるヘリコプターの運行について今年度は利用がありません。医療

問 水道の警報システムは

【答】 施設改善時に検討する

【質問（議員）】

沖浦ポンプ場で水道タンクが停電により空になり断水した。給水車を配置すべきだったのでは。島内全タ

【答弁（町長）】

沖浦地区と明石地区を結び木江地区と外表地区を結ぶ水道施設の改善を計画しています。警報システムは検討する。

機関との協議をすべきでは。

【答弁（町長）】

色々検討している。患者の意向も大事だが医者が初期判断しヘリの利用を考える。

問 大串裁判は

【答】 和解は検討していない

【質問（議員）】

大串裁判について大崎町時代の弁護士との契約をどうするのか。裁判についてどのように考えるのか。広島県と相談するのか。

【答弁（町長）】

裁判について勉強中です。弁護士との契約は確認していない。和解は考えていない。県とは相談すべきではない。私や木江・東野の議員に共通認識をえるため、弁護士に来庁してもらい、説明してもらおう。

問 雇用窓口の設置を

〔答〕 商工観光課を窓口



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司 議員

〔質問（議員）〕

大変な不況下、島内においては深刻な雇用情勢となっているが、大崎上島町役場には、雇用問題の窓口は設置されていません。

地域の実情に密着した相談活動や情報提供の出来る雇用窓口を設置すべきではないか。

又、将来的に、就労に必要な技能取得の支援や町内雇用創出のための雇用・人材育成センターへと発展させる事が有効であると思うが。

〔答弁（町長）〕

厳しい状況の中、商工観



造船所の作業

光課を窓口として、ハローワーク竹原の求人情報を掲示しているが、雇用相談までは踏み込んでいません。今後、ハローワークの現地相談員が可能か相談したい。又、県の緊急雇用創出基金の活用等も周知しながら取り組みたい。

問 「地元高校を守る会」の結成を

〔答〕 関係者と協議・検討したい

〔質問（議員）〕

現存する町内の高校の統廃合がささやかれています。町内に高等学校があるかどうかは、今後の過疎化の進行に大きな影響力を持つ事になります。

統廃合をさせない為には、学校が教育水準を高める事が最も重要ですが、地域が必要性を認識し、地元高校を支える作風を創ることも重要です。

問 スポーツ指導員育成と援助を

〔答〕 積極的に取り組みたい

〔質問（議員）〕

中学校教育におけるスポーツクラブ活動が、生徒数と指導体制の問題から、生徒の選択肢が無くなりつつあります。

こうしたことから、今後社会スポーツクラブの中で中学生・高校生を含め、本格的に競技としても取り組み

町長自身が先頭に立って「地元高校を守る会」を立ち上げ、活動内容を内外に示すべきでは。

〔答弁（町長）〕

全く同感です。島にとって高校の存続は一番大切な事です。

地元高校を守る会に賛同しますが、後援会の方々と十分協議し検討していきたい。

のできる体制づくりが必要です。

そのためにも、行政が積極的に呼びかけ、援助しながら各種目におけるスポーツ指導員を養成すべきでは。

〔答弁（教育長）〕

子ども達のやりたいスポーツが出来ない現状があ



クラブ活動

り、今後も教師の定期異動などで指導者が更に不足する事が予想されます。文部科学省が推進する総合的地域スポーツクラブ（会員制クラブチーム）が県内で8団体設立しており、検討に入ります。

その為の指導員や学校スポーツへの必要性から、行政による費用負担も含め、積極的に取り組みたい。

問 役場機構の早急な見直しを

答 住民のサービスが低下しない様一定の時期に見直しを



くまさ たかのり
熊佐 尊徳 議員

質問（議員）

現在の機構は今日迄の行政の踏襲と職員の役職を維持する為の課の設置であり、

その中で多くの弊害が出ております。今後は島民の生活に資する為の課、例えば情報、交通、設計管理、コ

ミュニティー等住民に直結する課を新設して支所に振り分け、建設課、産業課の事業課は本所で一元管理する方が効率的だと思います。今のままでは島民が合併で望んでいた重点事業が手付かずになると危惧します。次に合併協議会で多く出ていた役場の職員の数の問

題について、私としては

ワークシェアリング、産業育成の為の職員の養成、設計管理が出来る職員育成、国が行っている特別区を申請して特別公務員制度の採用、関連機構への職員の派遣等で出来るだけ維持する方が島にとってはベターだと考えております。この二点について町長の考えをお聞かせ下さい。

答弁（町長）

合併でそれぞれの町の継承の組織でありましたが、



質問（議員）

問 フェリー型高速救急艇事業について
答 患者輸送艇コスモスの耐用年数等の経緯を精査して導入を

新しい町としての本格的な予算執行を行う中で今迄の形態を、住民サービスが低下しない、事業執行がスムーズに行くという視点で一定の時期に見直したいと思います。職員の数については他町の規模から比較すれば多いと思うが不補充という視点で適正な人員配置を考えております。専門職の関係は今迄は一般行政職として採用であったが合併のメリットの一つとして、職員の履歴を見て内部的に検討してみたいと思います。特別区の問題は地方公務員法、地方自治法、この島のような小さな町に当てはまるのか等を含めて勉強してみたいと思います。

質問（議員）

この事業は新町建設計画の目玉であり、島民が非常に待ち望んでいる事業であります。17年度導入計画となっておりませんが、島という大きなハンディを抱えている救急医療を充実させる為に一日も早く予算化し島民の期待にこたえる事が新生藤原町長のまず一番に行って貰いたいハード事業であり、又やりやすい事業であると思います。この事業では2名位の職員の増強が消防署に必要となります。

前の質問とも関連します。が役場の職員をこの事業導入を機に消防署に派遣して常備消防と非常備消防の事務を一元化し、消防職員の高速艇業務への振り分けをするべきだと思います。この事業に対する考えをお聞かせ下さい。

答弁（町長）

導入事業は計画しておりますがコスモスの補助金、耐用年数、消防職員の人員配置の問題等を含めて関係機関と協議していきたいと考えております。島で安心して暮らせる状況を作るという視点で考えます。



救急艇コスモス

問 東野地区東部水道事情について

答 17年度から工事にとりかかる計画で進めるつもりです



わたなべ としのり 議員 渡辺 年範

質問（議員）

東野地区に於いては、貯水タンクは西部矢弓区、中央白水区に整備されており、東部垂水、メバル、外表区にないのが現状である。芸予地震の折、一番不便であったのが東部地区であり、貯水タンク設置の必要性を尋ねたところ、合併により木江地区のタンクから配水してもらおうとの答弁であったが、生活に密着していることなので急ぐ必要があると思うが、どのように考えているのか。

答弁（町長）

三町合併協議会の中でも、島全体が一つの町になった時に安定的に水の供給ができる体制をどうとるべきかということと協議を重ねてまいりました。ご指摘のように東野地区のメバルから外表に關しての間は、タンクが未整備であるということとあわせて、管路全体が



貯水タンク

問 EM菌による悪水溜りの浄化について

答 早い時点で施行できるよう進めます

質問（議員）

昨年の9月及び3月の定例会に於いて、東野地区垂水の悪水溜をEM菌による浄化を実行する。ただ、今は温度が低いので時期を待っている。このことは3町合併後にも引き継ぐとのことであつたが、このことについてどのように考えているのか。

答弁（町長）

EM菌による浄化は、内海町や安芸津町が取り組まれている、結果としては浄化作用があるんじゃないかということが実証されているような形態があります。

小さいということもあつて、消火栓の設置もされていないような状況にあります。16年度には、木江地区の2千トンタンクからの供給につき、どれだけの管路がいいかということ、未整備の消火

栓設置も含めて補助金申請の中で調査してまいります。具体的には、16年度の補助申請をして、17年度から工事にかかるという計画で進ませていただこうと思っています。

東野地区についても具体的ではありませんけれども、引き続き取り組むように、現在該当地区の区の役員さんと協議をされていると聞いておりますし、早い時点でその施行ができるよう進めてまいります。

質問（議員）

町長の答弁では具体的ではないという発言があつたので、その点をもう一度伺います。

答弁（町長）

どうしても管理の問題があり、それを継続していくということになれば地域の



垂水の悪水溜

方の支援というのが必要でございませう。旧東野町でもそういう地域の方の支援が受けられるということをお伺っておりますので、それは進めてまいります。木江地区でも湾内の浄化とか、大崎地区には樋門の關係なんかたくさんありますから、そういうところで効果があれば、どんどん島全体に広めていければというふうに考えております。

問 地域の集会所を改善し利用しやすいように

答 適切な維持にむけて応援します



まつもと すすむ 議員

いようにすることが大切だ。例として、木江の天寿会館の整備要望がある。屋根・トイレ・駐車場など現場を調査し善処されては。

答弁（町長）

質問（議員） 集会所や会館の整備や予算措置の考えは、バリアフリー（障壁をなくす）の取り組みで誰もが利用しやすい

答 基本的な修繕、改修は町が予算措置し、適切に管理していく考えです。バリアフリー化は、整備に努めていきます。修繕が必要なところは早急に対応します。

問 高速船の時間変更の関係について

答 関係の機関に要望していきます

質問（議員）

行政と船会社・バス会

社・JRの関係機関が連携を持ち、船の利用者の便宜をもっと図るべきだ。春のダイヤ変更は問題があり、不便のくり返しではないけない。

利用者の声・要望が反映

されることが大切と思う。町長として対策などは。

答弁（町長）

島に住んでいる者の一番身近な問題です。十分に交通問題対策協議会の機能も果たすと共に、町としても、関係機関に要望します。

問 情報化の取り組みと庁舎内の体制は

答 検討中であり改善に努めてまいります。

質問（議員）

情報化推進はどのようにしていく考えか。利用促進のための対策はどうか。町のホームページの充実をし、更新を早くすべき。役場に24時間自動受付の留守番電話応答装置を設置し、放送や情報が入りにくい人達の便宜を図りたい。その調査検討をされては。

答弁（町長）

職員のパソコンも機能發揮するよう整備を図っていきます。ホームページは使いやすい仕組みについて現在検討している最中で、改善にも努めています。現在応答装置は、資料を取り寄せ総務課で検討しています。

問 新町建設計画をどのように実行していくか

答 計画の区分けと地域性を配慮します

質問（議員）

新町の建設計画について早急に必要な施策の取り組みを。総合管理と計画の実行状況を公表する考えは。町長は、住民参画と開かれた町づくりへの具体的構想はどうか。

答弁（町長）

すぐ実行のものと中期・長期の区分けが必要とされます。地域の均衡発展が柱です。

情報公開の原則で仕事を進めていきたいです。行政が言い訳がましいことをしない姿勢で取り組みます。町内各区への説明などはむづかしいです。

こんな質問もしました

問 少子化に対する具体的対策はどうする

答 子育て支援の事業などの活用を

問 防犯街灯新設で安全な通行の確保を

答 必要な所は検討してみます。



問 公共下水道整備事業について

答 一般会計よりかなりの応援をしなければ運営は難しいと想定されます



森若 巖 議員
もりわか いわお

質問（議員）

私が議席をいただいた年の多分11月か12月に県の職員を招いて、この文化ホールの大ホールで、旧各町の町長さん及び議員さん出席のもとで、私はこの整備事業について質問しますと県の職員の方が過疎が進んでいる町で、この下水道整備事業というものはいかななものかと言われ、旧東野町が計画して進めている小型合併槽の方がベターではないかと言われましたが、旧大崎町長はそれを押し切りこの下水道整備事業を推し

進めました。そこでこの事業を計画し推し進めた本人でないのに答弁するのは大変心苦しいと思いますが、

答弁できる範囲で伺いたい。まず最初に、総事業費45億3千万もかけてこの整備事業をやる必要があると思うか。また、合併以降も約27億78百万もの工事費が必要と言われているが、この整備事業に係る世帯数は大崎上島町のどれだけの世帯数がこの整備事業の対象になるのか。

答弁（町長） この事業の対象世帯数は5月末で1354世帯で全世帯数の29%である。



質問（議員）

次にこの事業は100%の強制加入の事業であると言いう事を住民の方が理解しておられるのか、又供用開始を始めるのと大きな運営費が必要になると思うが、その費用を利用者だけで負担するのか、それとも不足分は一般会計より補てんするののか、その時にはどのくらいの費用が必要なのか。

答弁（町長）

この特定環境保全公共下水道事業は対象者の100%加入が原則であり当然受益者負担で運営していかなくてはいけないが宅外の工事にかかりの金額が必要なため100%加入は望めず一般会計よりかなりの金額を補てんしなければならぬと思います。



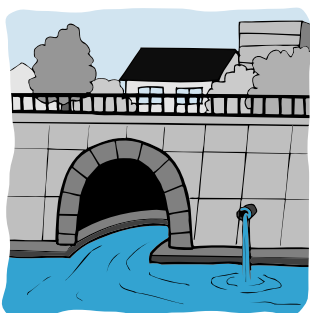
公共下水の終末処理場建設予定地

質問（議員）

私に言わせればこのような先の見込みのない事業に多額のお金をつぎこみ、その結果生じる負の遺産を自分達の子どもや孫に背負わせることに、この計画を推し進めた本人はどのようなように思っていたのか今になっては知るすべもないが、町長自身はこの整備事業をどのように思っているのか。

答弁（町長）

供用開始の年度が迫っているが住民に対してこの事業の性格を説明して加入がスムーズに進むように啓発を一生懸命取り組んでいくとの答えをさせていただきます。ほかはないと思います。



問 補助金・助成金団体について

答 各種団体の統合は進んでいます



議員 俊樹 信谷

質問（議員）

旧町単位でのすり合わせ事務はすんだのか。

答弁（総務課長）

総会などを開き、連合会組織という形で進んでいます。

質問（議員）

今・現在大きな補助金助成金団体はいくつぐらいあるのか。

答弁（総務課長）

社会福祉協議会、区長会、民生委員協議会、公衆衛生推進協議会、体育協会、観



社会福祉協議会

質問（議員）

今後の統合見通しはどうなっているのか。

答弁（総務課長）

現在、連合済みが社会福祉協議会、食生活改善推進委員会、観光協会です。以外の団体についても、連合組織として、協議が進んでいます。

問 光通信網の福祉情報の提供は

答 医療情報・生活情報を伝達する仕組みを



議員 弘 藤解

質問（議員）

光通信網を使い福祉情報

答弁（町長）

大崎上島の一部の地域において光ファイバー網が敷設されていない地域があります。15年度予算の中で取

の提供などが大切だと言われています。その内容をわかりやすく説明をお願いします。

問 3町の平成14年度末の財政調整基金と起債残高・経常収支比率は

答 総務課予算関係資料で説明

質問（議員）

合併時の3町、平成14年度末の財政調整基金と起債残高・経常収支比率をお知らせください。

答弁（町長）

合併時の3町の財政調整基金と起債残高は、総務課予算関係資料をお配りして、財政調整基金については14

年度における出納整理期間に入ってくるべき歳入というものが15年度で処理するという仕組みになります。その間の資金不足を財政調整基金等で振り替え運用しております。

り組んで、全町すべての地域で使える状態にしていることが一番です。

福祉目的で高齢者の方にいろんな医療情報とか生活に必要な情報を伝達する仕組みを考えていきます。それと合わせて当然行政情報、教育情報、島を外へ向けてアピールできる情報を載せていきたいと思っています。

残より大きな数字が残っていると、言う事をご承知いただきたいと思っています。

新年度における経常収支比率は予算執行後にならないと分からないということです。



問 大串干拓地堤防の所管換えを

答 県に強く要望



辰田 真司 議員

質問（議員）

リゾート事業の撤退後も西野干拓地潮待堤防の管理を町で行うようになってい

る大崎上島町長として一日も早く所管換えの要望をすべきと思うが町長の考えは。

答弁（町長）

平成5年の払い下げ当初は、リゾート事業の起業者である森ビル観光が事業展開し、リゾート施設の一部として管理することになっていたが、平成5年9月に森ビル観光は事業上撤退し



大串の樋門

ました。

これに伴い、堤防は町が管理せざるを得なくなり、予算規模が小さい町にとって大きな負担になることから、旧大崎町において大串地区住民の生命、財産を守る第一線堤防であり、港湾区域内でもあることから、

問 レモンの増産へ助成を

答 J Aと協議し応分の助成

質問（議員）

レモンの単価は218円と、「デコポン」「はるみ」にはわずかに及ばないが高単価を維持しています。

またレモンは雨、風に弱く他の柑橘産地と比べ大崎上島は適地であり、平成15年度生産振興総合対策事業で5200本のレモンの苗木が農家負担なしで植栽され、3年後からは増量の見通しはあるが、輸入量から見ればまだまだ増産は可能である。長引く柑橘類の低迷で農家は新たに資本投下しにくい現状になっており、レモンの

広島県に所管換えをし、管理してもらえようよう要望書を提出していると聞いています。私も事情はよく理解できるので、早速県の方と協議を重ねて県管理へ所管換えを要望したいと考えています。

増産こそが農家の所得アップにつながり、所得アップが若者定住につながります。単町でもJ Aとタイアップし苗木の植栽に助成を。

答弁（町長）

いま、広島ゆたか農協は上島下島地域にレモンを奨励し、平成15年度は、生産振興総合対策事業を活用し苗木分の農家負担を農協が助成したということ聞いています。広島ゆたか農協との話ですが平成16年度も同様の助成を考えておられるようですが、実際に、ど



レモン畑

れ位の需要があるかはまだ把握はしてないようです。平成15年度は5000本、そのうち大崎上島町分が1139本と聞いていますが平成16年度もそういう需要が見込めて、島地域の農業振興の一助になるなら、町も農協と協議し応分の負担を考えたと思っています。農協が計画している予算の範囲以上の本数が出た時は、農家負担が少なくて改植作業ができるよう、町も努力してまいります。



新委員会構成が決定

第1回臨時議会を4月11日開催し、総務常任委員会等3常任委員会と議会運営委員会と広報委員会などを次のように選任しました。

議長 土井田 聖次
副議長 渡辺 年範

総務常任委員会（9人）

委員長 西田 巧
副委員長 信谷 俊樹
委員 谷本 昌雄
岡野 徳雄
坂場 康雄
増本 真
渡辺 年範
熊佐 尊徳
赤松 良雄

担当課

総務課・政策企画課



福祉文教常任委員会（10人）

委員長 森川 家忠
副委員長 福増 進
委員 鼻戸 露子
藤解 弘
中村 修司
土井田 聖次
藤原 国輝
三谷 良持
藤原 龍秀
長尾 学

担当課

福祉保健課・住民課・教育委員会

産業建設常任委員会（10人）

委員長 辰田 真司
副委員長 森若 厳
委員 望月 住夫
松本文 昭
蒔田 篤雄
松原 茂
尾尻 公雄
川口 信夫
川崎 晟司

担当課

建設課・農林水産課・上下水道課・商工観光課



建設中の道路

議会運営委員会（6人）

委員長 中村 修司
副委員長 増本 真
委員 松本 進
川崎 晟司
長尾 学
信谷 俊樹

議会会期や議会運営について

議会広報委員会（6人）

委員長 蒔田 篤雄
副委員長 森若 厳
委員 坂場 康雄
三谷 良持
藤原 龍秀
赤松 良雄

広島中央広域行政組合

土井田 聖次

竹原広域行政組合

土井田 聖次
渡辺 年範
西田 巧
森川 家忠

監査委員（議会推薦）

藤原 龍秀

各委員会の活動

総務常任委員会

☆支所・防火水槽設置予定地・大串干拓地の視察
☆光ファイバーについて業者と協議

福祉文教常任委員会

☆島内の福祉施設と教育施設の視察
☆幼稚園・小中学校の現状と課題を討議

産業建設委員会

☆今年度実施する町道・林道・下水・公園・急傾斜・漁港・海岸保全等を視察



学校



生野島がもっと身近に！



うまとり 馬取海水浴場

◆ 時刻表 ◆

大崎上島 盛谷物揚場棧橋	生野島 馬取海水浴場棧橋
8:30	9:45
10:00	10:45
11:00	13:25
13:40	14:30
14:45	15:45
16:00	16:45
17:00	17:30

期間：7月19日(土)
～8月31日(日)まで

運賃：100円 (大人子ども共に)

※盛谷物揚場棧橋…大崎上島・白水
港より東側200mにあります。



委員
三谷 良持



委員
藤原 龍秀



委員
坂場 康雄



委員
赤松 良雄



副委員
森若 巖



委員長
蔭田 篤雄

広報委員



4月1日より、新生大崎上島町がスタートしました。6月定例会で当初予算も決まり、名実共に新しい町づくりの始まりです。

今回の『議会だより』は、大崎上島町議会の創刊号となります。『議会だより』は、議会の活動内容を住民の皆様一人一人にアピールできる唯一の広報手段です。住民の皆様の視点に立ち、出来るだけ詳しくて分かりやすい、また旧三町の議会広報の良さを生かした『議会だより』に仕上げていきたいと思っています。

今後とも愛読下さるようお願いいたします。

編集後記

